

STAR

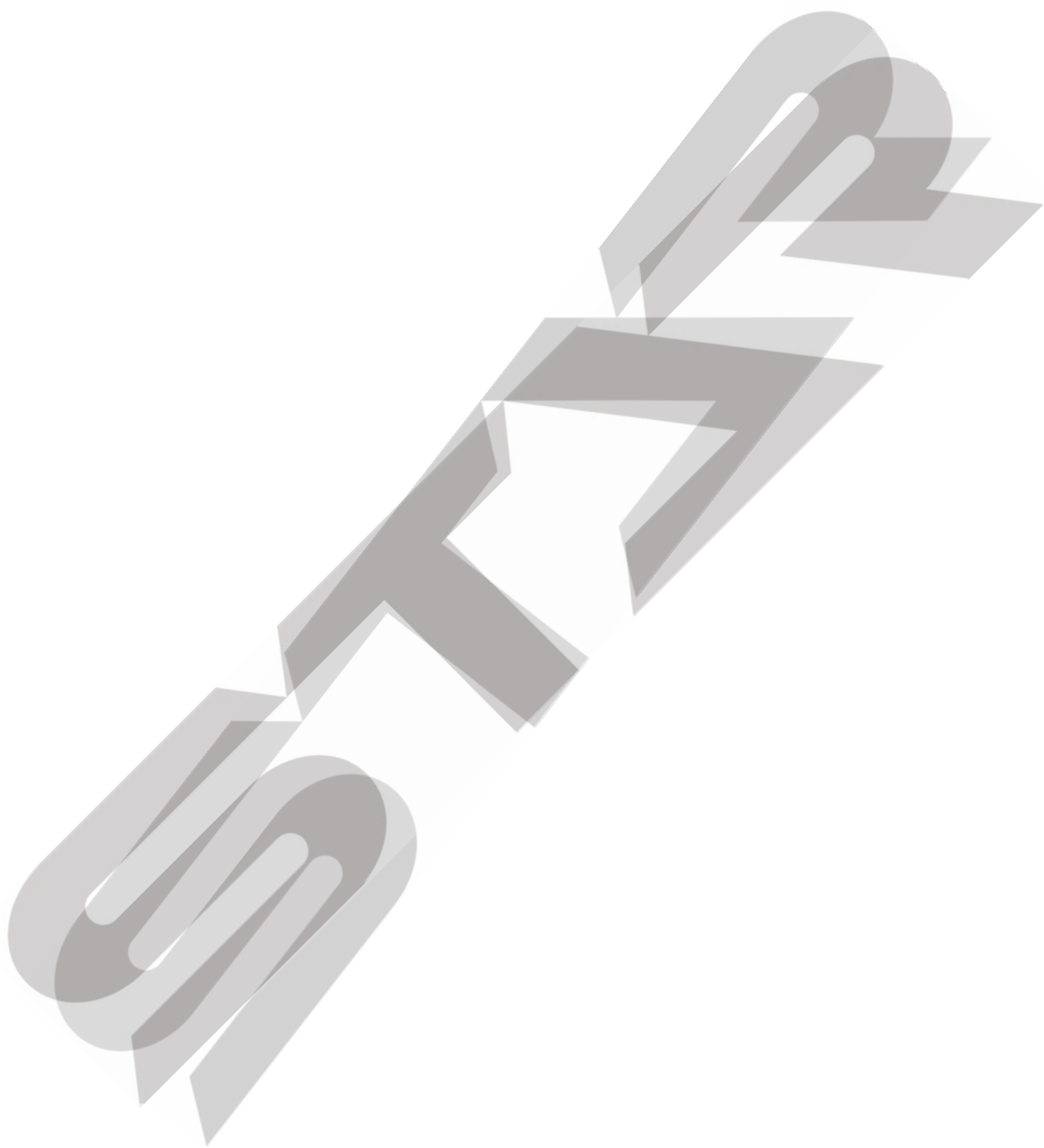
キャビンアタッチ

取扱説明書

製品コード	K93348
型式	AJC1710N
製品コード	K93349
型式	AJC2520N
製品コード	K93350
型式	AJC3550N
製品コード	K93351
型式	AJC3560N

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

株式会社IHIアグリテック



はじめに

- このたびは、・・・キャビンアタッチメント付き自走マニースプレッドをお求めいただきありがとうございました。
この取扱説明書は、正しい取り扱い方と日常の点検、整備について記載してあります。
この取扱説明書および自走マニースプレッド取扱説明書、装備品の取扱説明書をよくお読みになって、充分ご活用いただき、いつまでもご愛用ください。
- お読みになった後はいつでも取り出せるように保管し、わからないことがあったときにお読みください。
- 自走マニースプレッドを貸与または譲渡される場合には、取扱説明書も添付しておわたしてください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買上げの販売店にご注文ください。
- 下記のマークのついた項目は、安全上、特に重要な項目ですので、必ず守ってください。

♥ 危険

—— この項目を守らなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

♥ 警告

—— この項目を守らなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

♥ 注意

—— この項目を守らなかった場合、けがを負うおそれがあるものを示します。

〔取扱いの注意〕 —— 操作上特に注意すべきことや、本機固有の事項ならびに、守らないと本機の性能、寿命に影響をおよぼす事項を示します。

- なお、品質、性能向上のため、部品の変更を行う場合があります。その際、本書の内容と一部異なる場合がありますのでご了承ください。

• 型式について

キャビンの型式は以下のようになっています

AJC1710N	JMS1800クラス用	ヒータ付きキャビン
AJC2520N	JMS2500クラス用	ヒータ付きキャビン
AJC3550N	JMS3500クラス用	ヒータ付きキャビン
AJC3560N	JMS3500クラス用	クーラ・ヒータ付きキャビン

目 次

■ 安全に作業するために	2
■ サービスについて	3
■ 本製品の使用目的について	3
■ 各部の名称	4
■ 使用方法	
1. ドアキャッチ、変速レバーカバー	5
2. ヒータの操作方法	6
3. ワイパーの操作方法	7
4. ラジオの操作方法	8
5. クーラの操作方法	10
■ 点検と整備	11
■ 故障と対策	12

■安全に作業するために

ここに記載されている注意事項を守らないと死亡を含む傷害事故や、機械の破損を生じるおそれがあります。

●全般の注意事項

♡ 警告 必ずシートに座って運転する

必ずシートに座って運転してください。
キャビンの外から手を伸ばして運転しないでください。

★守らないと
障害物にはさまれ、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

♡ 警告 走行中は窓から手や首を出さない

走行中は窓から手や首を出さないでください。

★守らないと
障害物にはさまれ、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

♡ 注意 ドアにはさまれないように注意する

ドアを開けたまま作業する時は、ドアキャッチで
ドアを固定してください。

★守らないと
ドアにはさまれて、けがをするおそれがあります。

♡ 注意 作業中は周囲に注意する

キャビン内は周囲の音が聞こえにくくなったり
視界が悪くなったりしますので、作業中は周囲に
注意してください。

★守らないと
思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

■サービスについて

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときは12ページの「故障と対策」に従って、点検してください。
なお不具合がある場合はお買上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ・型式
- ・製造番号
- ・購入年月日
- ・使用状況
- ・不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく

覚 え	
型 式	AJC
製 造 番 号	
購 入 年 月 日	年 月 日

製造番号はキャビン後面の型式銘板に打刻してあります。

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。
ただし供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

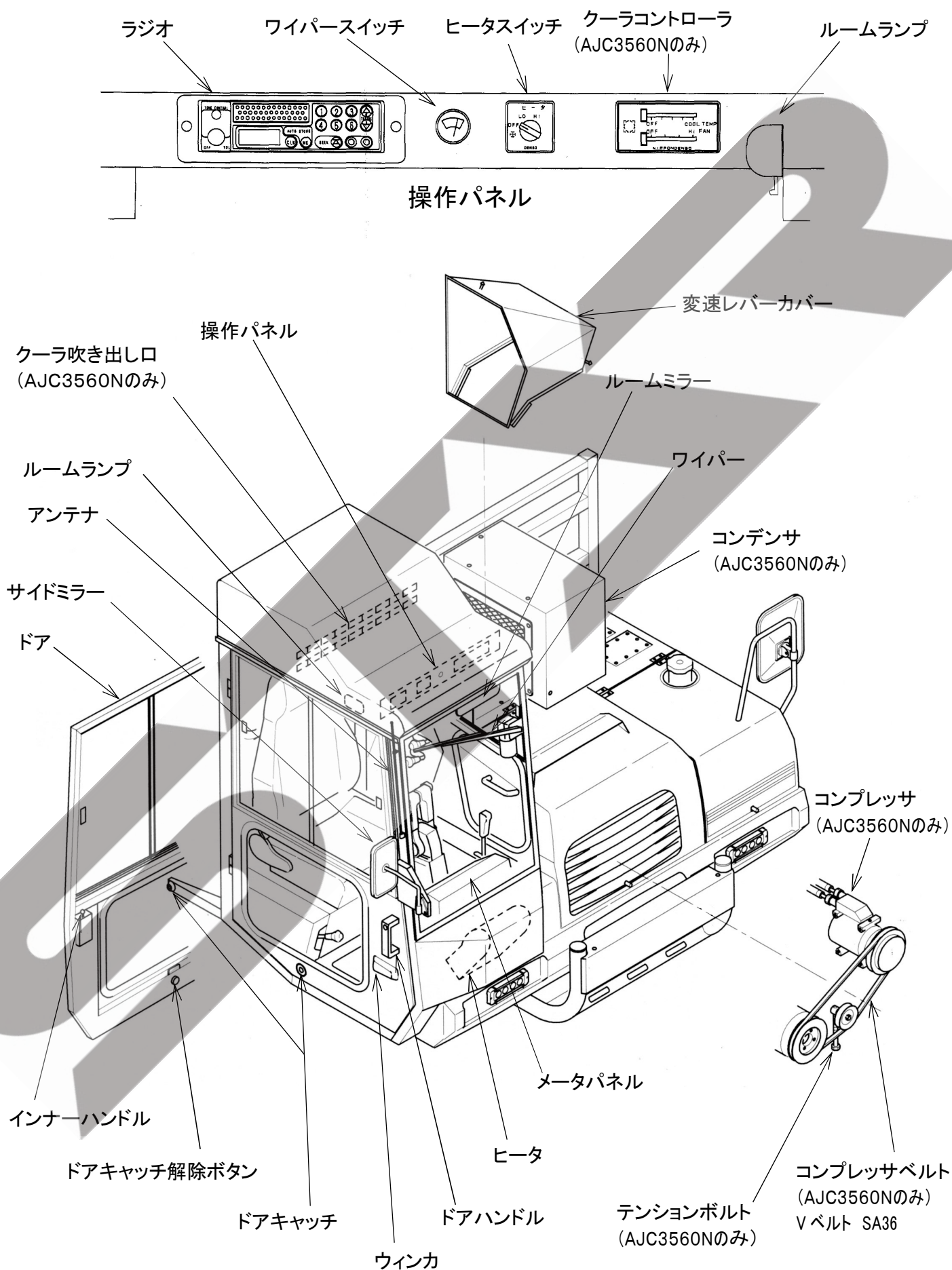
■本製品の使用目的について

キャビンアタッチメントは、寒冷時や降雨時の堆肥散布作業を快適に行うことを目的としたアタッチメントです。

使用目的以外の作業に使用しないでください。

また、改造は行わないでください。

■各部の名称



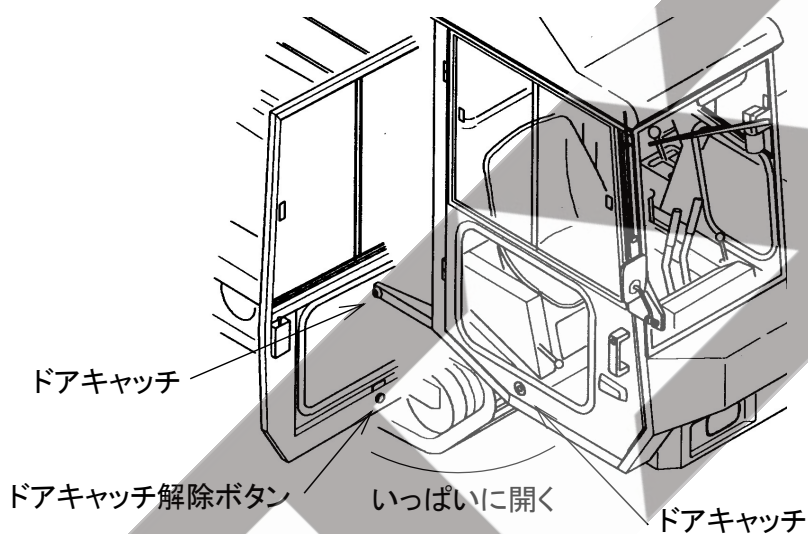
■使用方法

1. ドアキャッチ、変速レバーカバー

♡ 注意

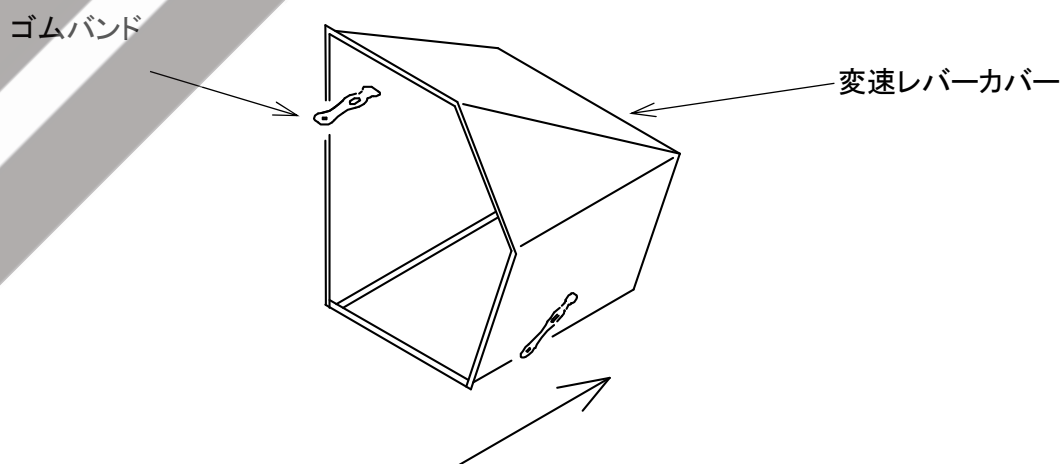
- ・ ドアを開けたまま作業するときは、ドアキャッチでドアを固定してください。
守らないと、ドアにはさまれて、けがをするおそれがあります。

ドアをいっぱいに開くと、ドアキャッチで固定されます。
ドアを開けたまま作業するときは、ドアキャッチでドアを固定してください。



ドアを閉めるときは、ドアキャッチ解除ボタンを押しながら閉めます。

変速レバーカバーはゴムバンドを外すと取り外すことができます。
点検のためエンジンカバーを開けるときは、変速レバーカバーを外してから行ってください。(AJC1710Nの場合)

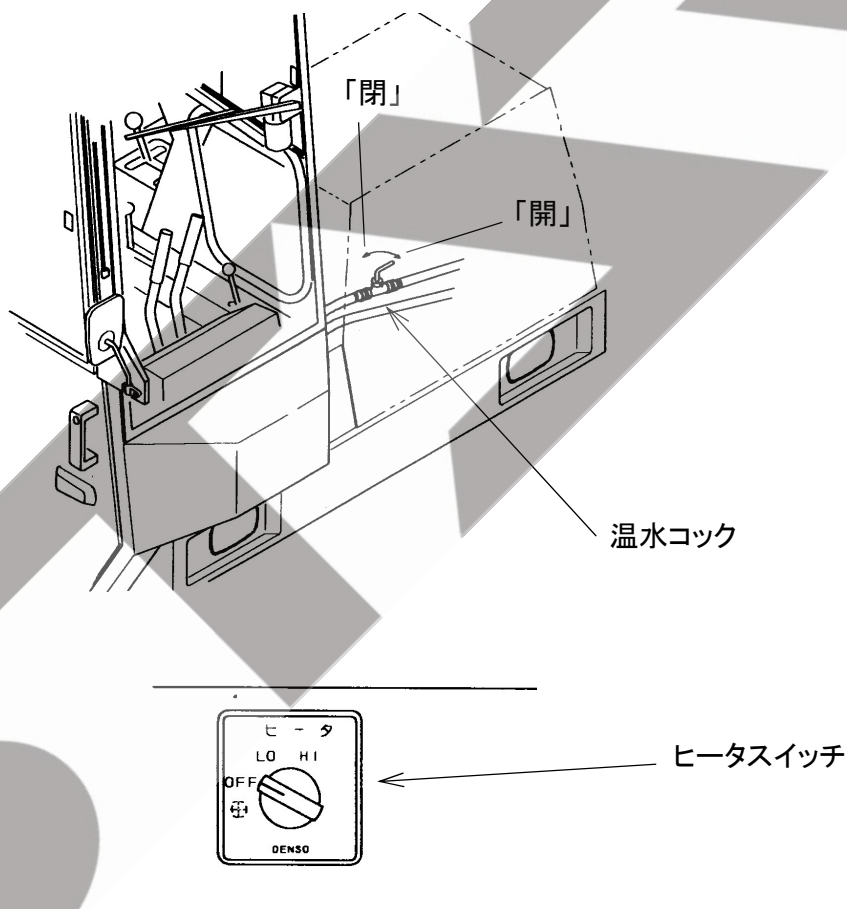


2. ヒータの操作方法

♡ 注意

- ・ 運転中は、ヒータ本体や温水ホースにさわらないでください。守らないと、やけどをするおそれがあります。

- (1) エンジンルーム内の温水コックを「開」にします。
- (2) 操作パネルのヒータスイッチを操作すると、温風が足元と、フロントガラス側に出ます。
- (3) 風量は「HI」「LO」の2段階に切り替えできます。

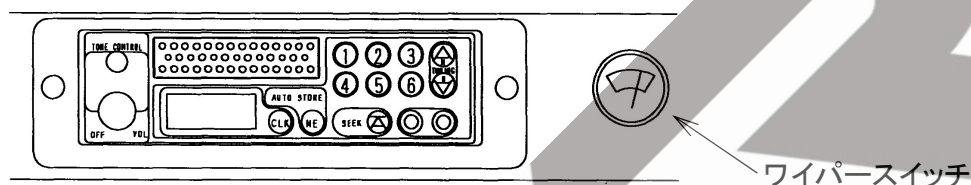


[取扱いの注意]

- ・ ヒータスイッチはエンジンを十分に暖機運転したのち操作してください。暖機運転が不十分なときは温風がでません。
- ・ スタータスイッチが「ON」のときヒータのファンが回ります。
- ・ 洗車などのとき、ヒータに水をかけないでください。
- ・ ヒータが必要でない時期は、温水コックを「閉」にしておきます。

3. ワイパーの操作方法

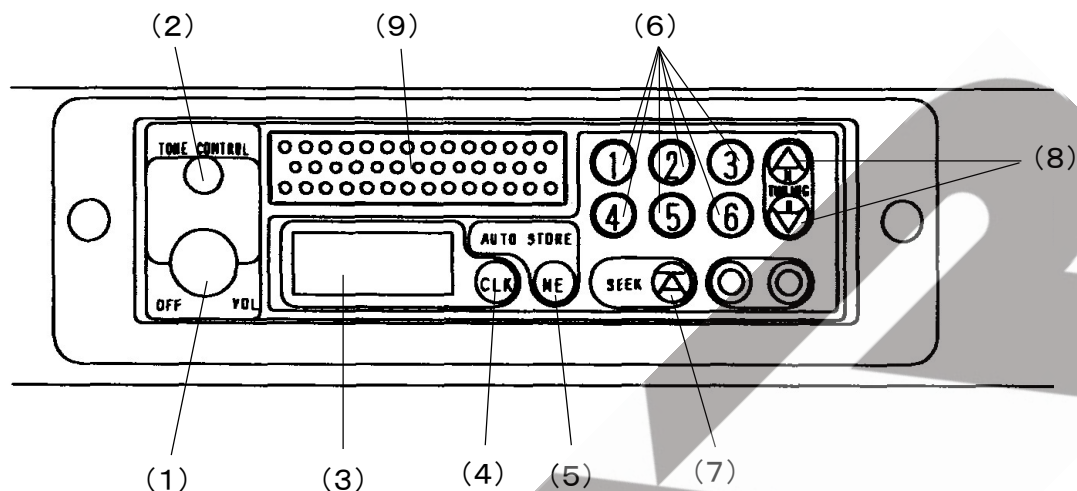
- (1) ワイパースイッチを引くと、ワイパーが動きます。
- (2) ワイパースイッチを戻すと、一番上がった位置でワイパーが止まります。



[取扱いの注意]

- ・スタータスイッチが「ON」のときワイパーが動きます。
- ・積雪・氷結時は、雪・氷を取り除いてからワイパーを動かしてください。
そのまま動かすと、ワイパーモータ、ワイパーブレードの損傷の原因になります。
- ・洗車などのとき、ワイパーモータに水をかけないでください。

4. ラジオの操作方法



- (1) 電源スイッチ／ボリュームつまみ
右に回すとカチッ音がして電源が入ります。さらに回してスピーカの音量を調節します。
- (2) トーンコントロールつまみ
右に回すと高音が強調されます。左に回すと減衰されます。
- (3) ディスプレイ
時計、ラジオ受信周波数が表示されます。
- (4) 時計ボタン
ボタンを押すと表示が時計に変わります。もう一度押すと周波数を表示します。
- (5) MEボタン
ボタンを押すとプリセットされた局を次々と呼び出します。聞きたい放送のとき、もう一度押すと停止します。
また、ボタンを2秒間押し続けるとオートメモリーになります。
- (6) プリセットボタン
各ボタンにAM各一局ずつプリセットできます。
- (7) シークボタン
ボタンを押すと自動的に受信可能な局を探し始め、受信できたところで停止します。
- (8) チューニングボタン
ボタン上を押すと周波数が高くなります。ボタン下を押すと周波数が低くなります。
ボタンを押し続けると周波数は連続的に変わります。
- (9) スピーカ
ラジオ内蔵型スピーカです。

- A. ラジオを聞くには
- a. ラジオの電源を入れます。
 - b. プリセットボタンまたはチューニングボタンで選局します。
 - c. 音量、音質を好みに合わせて調節します。

B. シーク（自動）選局について

「SEEK」ボタンを押すと周波数の高い方へ自動的に移行し受信可能な局をさがし出して、停止します。

C. マニュアル（手動）選局について

「TUNING」ボタン上を押すと周波数が高くなります。ボタン下を押すと周波数が低くなります。ボタンを押し続けると周波数は連続的に変わります。

D. 放送局をプリセットするには

- a. プリセットしたい局を選びます。「TUNING」ボタンで放送局を選びます。
- b. プリセットしたい番号のボタンを2秒間押し続けると、ボタンと同じ番号がディスプレイに表示され記憶します。
- c. aからbを繰り返し、他の放送局をプリセットします。

〔取扱いの注意〕

- ・プリセットしたボタンに別の放送局を記憶させたいときも、aからbの操作を行います。
- ・バッテリー交換などで電源が切れた場合は、プリセットしたものが消えてしまいます。再度プリセットを行ってください。
- ・AM6局を記憶させることができます。

E. オートメモリーについて

「ME」ボタンを2秒間押し続けると受信可能な放送局を次々と呼び出し、自動的にプリセットボタンに割り当てます。

F. 時計を合わせるには

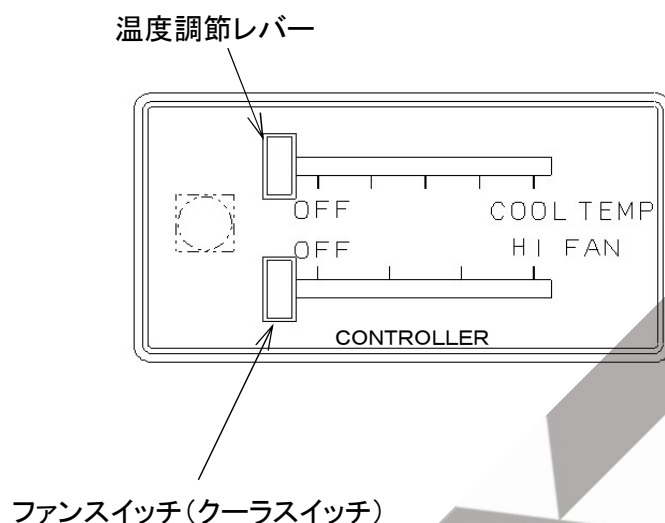
- a. ラジオの電源を入れます。ディスプレイの表示が周波数になっている場合は時計ボタンを押して時計表示にします。
- b. 時計ボタンを押したまま、「TUNING」ボタン下を押すと時間、「TUNING」ボタン上を押すと分がセットできます。

〔取扱いの注意〕

- ・洗車等のとき、ラジオに水をかけないでください。
スタータスイッチが「ON」のときラジオをきくことができます。
- ・このラジオはAM専用です。

5. クーラの操作方法

(A J C 3 5 6 0 Nのみ)



- (1) ファンスイッチで冷風の風量を調節します。
スイッチを右側に動かすとクーラが作動し始めます。
風量は3段階に調節でき、右に動かすほど強くなります。
- (2) 温度調節レバーで冷房能力の調節をします。
「COOL」側へレバーを動かすと冷房能力が上がります。

[取扱いの注意]

- ・冷風の吹き出し方向は、クーラ吹き出し口のルーバを動かして調節します。
- ・冷風を長時間にわたり、直接体に当てないでください。健康上好ましくありません。
クーラは、温度と湿度を下げるにより室内を爽やかにします。少し涼しいと感じる程度（外気温との差5～6℃）が健康上最適と言われています。冷やし過ぎないように温度調節にはご注意ください。
- ・長時間冷房するときはキャビン内の空気が汚れますので、時々窓を開けて換気をしてください。
また、長時間冷房をしていると目が痛くなることがありますが、これは室内の空気が乾燥して目が乾きぎみになっている状態です。このような時も窓を開けて換気をしてください。
- ・炎天下に駐車したときなどは、ドアを開け、十分に換気をしてからクーラを作動してください。
- ・クーラのファンはスタータスイッチが「ON」であれば作動しますが、エンジンが停止しているとクーラは作動しません。
- ・冬期でも時々コンプレッサを作動させてください。コンプレッサの油切れを防ぎ、寿命が向上します。

■点検と整備



- ・点検、整備、修理あるいは清掃するときは、必ずエンジンを停止してください。
- 守らないと、機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

点 検 項 目	点 検 内 容	備 考
ドアハンドル、窓	損傷	作業前毎
電装品の作動	動作	作業前毎
温水ホース	損傷、水漏れの有無	作業前毎、5年毎ホース交換
クーラホース (AJC3560Nのみ)	損傷	作業前毎、5年毎ホース交換
クーラ冷媒 (AJC3560Nのみ)	冷媒(ガス)量	コンデンサ内のサイトグラスで点検
コンプレッサベルト (AJC3560Nのみ)	損傷、張り	ベルト中央部を指で押したとき、10mm程度の張り
コンデンサ (AJC3560Nのみ)	フィンの目詰まり	目詰まりがあったら清掃する

[取扱いの注意]

A J C - 3 5 6 0 N のクーラ冷媒について

- ・クーラ冷媒はフロン（代替フロン）です。
- ・フロンを大気中に放出すると、温室効果が大きいので地球温暖化が進みます。
このため法律により、フロンをみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- ・この製品を廃棄あるいは部品をリサイクルする場合は、フロンの回収が義務付けられています。
また、フロンを抜いて整備する場合も回収が必要です。
- ・フロンを回収するときには書類が必要です。
回収後はその書類を保管してください。
- ・フロンの回収は、販売店あるいは登録回収業者にご相談ください。

■故障と対策

ここには、簡単な故障の原因とその対策方法を載せてあります。

もし、機械の調子が悪い時は、この表を参考にしてください。

原因がわからない場合、対策が困難な場合は、早めにお買上げの販売店、サービス工場へご相談ください。

状 況	原 因	対 策
電装品が作動しない ヒータ、ワイパー、ルームランプ	ヒューズ切れ	メータパネルのヒューズ(2箇所)を点検
	バッテリー放電	バッテリーを充電する
	各電装品の故障	サービス工場で修理
電装品が作動しない ラジオ	ヒューズ切れ	ラジオ後部のヒューズ(2箇所)を点検
	ラジオの故障	サービス工場で修理
クーラが作動しない	ヒューズ切れ	メータパネルのヒューズ(2箇所) バッテリー(+)端子のヒューズ ブルリンク ラジオ後部付近のヒューズ(2箇所)を点検
	クーラ冷媒量不足	配管点検、冷媒補充
	クーラ機器の故障	サービス工場で修理

千 歳 本 社 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千 歳 営 業 所 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

豊 富 営 業 所 098-4100 天 塩 郡 豊 富 町 字 上 サ ロ ベ ッ 1 1 9 1 番 地 4 4
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯 広 営 業 所 080-2462 帯 広 市 西 2 2 条 北 1 丁 目 1 2 番 地 4
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

中 標 津 営 業 所 086-1152 標 津 郡 中 標 津 町 北 町 2 丁 目 1 6 番 2
TEL 0153-72-2624
FAX 0153-73-2540

花 巻 営 業 所 028-3172 岩 手 県 花 巻 市 石 鳥 谷 町 北 寺 林 第 1 1 地 割 1 2 0 番 3
TEL 0198-46-1311
FAX 0198-45-5999

仙 台 営 業 所 984-0032 宮 城 県 仙 台 市 若 林 区 荒 井 5 丁 目 2 1 - 1
TEL 022-353-6039
FAX 022-353-6040

小 山 営 業 所 323-0158 栃 木 県 小 山 市 梁 2 5 1 2 - 1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

東 海 営 業 所 485-0081 愛 知 県 小 牧 市 横 内 字 立 野 6 7 8 - 1
TEL 0568-75-3561
FAX 0568-75-3563

岡 山 営 業 所 700-0973 岡 山 県 岡 山 市 北 区 下 中 野 7 0 4 - 1 0 3
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊 本 営 業 所 861-8030 熊 本 県 熊 本 市 東 区 小 山 町 1 6 3 9 - 1
TEL 096-389-6650
FAX 096-389-6710

都 城 営 業 所 885-1202 宮 崎 県 都 城 市 高 城 町 穂 満 坊 1 0 0 3 - 2
TEL 0986-53-2222
FAX 0986-53-2233